

図画工作科学習指導略案

2年3組 23名 指導者 三浦和也

本授業では、以下の検証を行うものである。

- 表現したいものを「見える図」でイメージを広げ、整理して考えることは、自分たちのつくりたいものの発想を広げ、どのようにするか構想を練る手立てとして有効であったか。
- 協同的な「学び合い」で、それぞれの思いと表現の工夫について交流することは、友達の考えのよさに気付いたり、自分たちの作品を見つめ直したりする手立てとして有効であったか。

1 題材 まどを ひらいて (絵や立体, 工作に表す)

2 指導計画 (総時数6時間)

過程	主な学習活動【評価規準】	時間
思いをもつ	1 参考作品を見て、窓の形や窓から見えるものを工夫した作品の面白さについて話し合う。 2 題材のめあてを捉える。 窓の形や家の中にあるものを工夫して、窓が開く楽しい家をつくろう。 【関：カッターナイフで紙に窓を開けることに興味をもち、窓のある楽しい家をつくることに取り組もうとしている。】 3 自分のつくりたい窓の開く楽しい家のテーマを考える。 4 カッターナイフの安全な使い方を知る。	1
まふ思 ますく すく ら	5 窓の開く楽しい家をつくるために、窓の形や開き方、中の様子、周りの様子について考える。 【想：窓の中に何が見えるとよいか思い付いたり、面白い窓の形を考えたりしている。】	1 (本時)
表現する	6 窓の形や開き方、中の様子、周りの様子を工夫して、窓の開く楽しい家をつくる。 【技：カッターナイフを安全に使い、開いたり閉じたりする窓を工夫してつくっている。】	3
思付 く を も つ な 気	7 友達のつくった窓の開く楽しい家を見て、窓の形や開き方や中の様子などの面白さについて話し合う。 【鑑：自分や友達の作品を見合って、工夫したところやよさに気付いている。】	1

3 本時 (2/6)

(1) 目標

窓の開く楽しい家をつくるために、窓の形や開き方、中の様子、周りの様子について考えることができる。

(2) 評価規準

窓の中に何が見えるとよいか思い付いたり、面白い窓の形を考えたりしている。

【発想や構想の能力】

(3) 指導に当たって

「思いをもつ」過程では、参考作品を見て前時の学習を振り返らせ、活動への意欲を高めるとともに、題材のめあてや学習計画を確認し、本時で行う活動を黒板に提示することで子どもが見通しをもって活動ができるようにする。

「思いをふくらす／思いを表現する」過程では、前時で出した参考作品の工夫を「見える図」に分類して整理することで、子どもが自分の作品の工夫を考える際、参考にできるようにする。次に、自分のテーマを基に、視点毎に作品の工夫を「見える図」に整理しながら考えることで、作品の工夫を考えやすくするとともに製作に生かせるようにする。

「自他のよさに気付く」過程では、同じようなテーマの友達とグループで意見を交流をすることで、自分や友達の工夫のよさに気付くことができるようにする。

「新たな思いをもつ」過程では、友達の意見を聞いていいなと感じたことを「見える図」に書き込むことで、自分の見方や考え方が広がっていることを感じるようにする。

(4) 本時の展開 重点化するスキル [] 子どもの意識 ○指導の手立て ※評価

過程	時間	主な学習活動と指導の手立て	
思いをもつ	5	1 前時の学習を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ どんな窓をつくろうかな。 ・ 水族館のような楽しい家をつくりたいな。 ・ 遊園地みたいな家が楽しそうだな。 	○ 参考作品を掲示し、前時の学習を振り返らせ、カッターナイフを使い、窓の開く楽しい家をつくることを確かめ、活動への意欲を高める。
		2 本時の学習の流れを知り、学習のめあてを立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> まどのひらく たのしいいえにするためのくふうを かんがえよう。 </div>	○ 題材のめあてや学習計画を確認し、本時で行う活動を黒板に提示することで子どもが見通しをもって活動ができるようにする。
思いをふくらます／思いを表現する	25	3 参考作品の工夫を振り返り、見える図に整理する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 20px;">分類する</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 窓に穴が開いていたな。 ・ 窓から家の中が見えたな。 ・ 車や木が立つようになっていたな。 	○ 前時で出した参考作品の工夫を「見える図」に分類して整理することで、子どもが自分の作品の工夫を考える際、参考にできるようにする。
		4 自分の決めたテーマを基に、窓の形や開き方、中の様子、周りの様子について考えたことを「見える図」に整理する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 20px;">多面的にみる</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 丸い窓をつくりたいな。 ・ 二つに開く窓をつくろう。 ・ 下の方の窓には、カニや貝が見えるようにしよう。 ・ 周りには、船や灯台をつくってみようかな。 	○ 自分のテーマを基に、視点毎に作品の工夫を「見える図」に整理しながら考えることで、作品の工夫を考えやすくするとともに製作に生かせるようにする。 ※ 窓の中に何が見えるとよいか思い付いたり、面白い窓の形を考えたりしている。(ワークシート)
自他のよさに気付く	8	5 同じようなテーマの友達とグループで意見を交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 魚の形の窓は面白そうだな。 ・ 周りにも魚がいると楽しくなると思うよ。 ・ カニをつくるのは一緒だけど、どんなカニにするのかな。 	○ 作品の工夫を考えることができている子どもには、称賛し、どうして面白いと思うのか説明を考えるように言葉掛けを行う。 ○ 活動が停滞している子どもには、黒板の「見える図」を参考にして、一緒に考えるようにする。
新たな思いをもつ	7	6 友達の意見を基に、もう一度、窓の形や開き方、中の様子、周りの様子の工夫について付け足したり考え直したりする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> ・ 魚の形や星の形の窓をつくってみよう。 ・ 親子のカニをつくろうかな。 ・ 家の周りには、木じゃなくて海草をおいてみよう。 </div>	○ 友達の意見を聞いていいなと感じたことを「見える図」に青で書き込むことで、自分の見方や考え方が広がっていることを感じるようにする。
		7 本時を振り返り、次時の活動への意欲をもつ。	○ 本時の学習を振り返り、次時の活動を伝えることで、思いを表現する活動への意欲を高めることができるようにする。

図画工作